

随意契約に関する事前確認公募

公募期間:令和 7 年 10 月 1 日～令和 7 年 10 月 10 日

本学は、以下に示す案件について、下記Ⅲ.に示す条件を満たす特定の者と随意契約を予定しております。このため、調達可能な者の有無を事前確認するための公募を行います。公募の結果、応募があり、下記Ⅲ.に示す条件を満たすと判断された場合は、企画競争又は一般競争入札等の手続きに移行します。

I. 随意契約予定事項

1. 件名 令和 7 年度 液化水素貯蔵タンクからの液化水素漏洩・拡散に関する数値解析
2. 業務の目的

横浜国立大学(以下、本学)は、「競争的な水素サプライチェーン構築に向けた技術開発事業／大規模水素サプライチェーンの構築に係る技術開発／大型液化水素貯槽からの大量漏洩・拡散等のシミュレーション手法の開発及び設置基準の整備に向けた調査研究」において、液化水素の大量漏洩による大気中への水素拡散挙動解析および危険性評価を行う。危険性評価の一環として、実規模液化水素貯蔵タンクから液化水素が大量漏洩したことを想定した際の水素濃度雲の拡散範囲の把握が求められており、本委託業務では、3 次元の数値流体力学(CFD)シミュレーションを活用して液化水素が漏洩し防液堤内に滞留し蒸発・拡散した場合を想定した拡散水素濃度雲の挙動予測に関する数値解析を行うことを目的とする。

3. 業務の概要

- ① 履行期間:契約日～令和7年 12 月 31 日
- ② 業務内容:液化水素貯蔵タンクから大量漏洩した液化水素が地上に拡散、および大気中に蒸発したことを想定した拡散挙動解析を実施し、液化水素の大量漏洩による大気中への水素拡散挙動解析および危険性評価を行う。
※詳細については、別紙【仕様書】を参照。

II. 公募に参加する者に必要な資格に関する事項

- ① [国立大学法人横浜国立大学契約実施規則](#)第 4 条及び第 5 条の規定に該当しない者であること。
- ② 国立大学法人横浜国立大学から取引停止の措置を受けている期間中の者でないこと。
- ③ 「[調達に関する国立大学法人横浜国立大学の基本方針](#)」を遵守する旨の誓約書を提出している者であること。

III. 特殊な技術及び設備の条件

下記①～②の条件を全て満たすこと。

- ① 液化水素プールの拡散、および液化水素プールからの水素の蒸発・拡散濃度評価にあたって必要な評価パラメータおよび 3 次元の数値流体力学(CFD)シミュレーションに関する知見を備えて

おり、水素拡散濃度評価およびその発展的な検討を実施するための CFD シミュレーションを用いた数値解析の実施を含む数値解析コンサルティングが可能であること。

- ② Gexcon 社製の可燃性ガス漏洩・拡散・燃焼・爆発の災害事故シミュレーションに特化した流体解析コードである FLACS に関する知見や使用実績を有し、当該解析コードを用いた数値解析が可能であること。

IV. 公募の条件を満たす旨の意思表示

本公募の条件を満たしており、参加を希望する者は、【参加意思表示書】(様式は別添)を提出すること。

提出期限:令和7年10月10日(金)12時00分必着

提出先:下記V.のとおり

提出方法:持参、郵送、または E-mail によること。各提出方法詳細は次のとおり。

- ・持 参 受付時間:平日 8 時 30 分～17 時 15 分(12 時 00 分～13 時 00 分を除く)。

ただし、10 月 10 日(金)は、8 時 30 分～12 時 00 分。

- ・郵 送 簡易書留や宅配便等の配達記録が残るものにする。

- ・E-mail 開封確認要求により送信を行い、本学担当者の開封連絡を必ず確認すること。一定時間が経っても開封連絡が届かない場合は、電話等により受信を確認すること。なお、誤送信やサーバー不調等の原因如何に係らず、期間内に本学担当に届いていない場合は、提出が無かったものとして扱う。

様 式:本学指定の別添【参加意思表明書】による。

そ の 他:本公募への参加を検討するために詳細情報を希望するものは、下記V.に記載の本件担当宛連絡すること。なお、この場合でも、参加を希望する場合は、提出期限までに参加意思表明書の提出が必要である。

V. 本件担当(提出・問い合わせ先)

住 所:〒240-8501 横浜市保土ヶ谷区常盤台 79-1

担 当:国立大学法人横浜国立大学 財務部 経理課 契約第一係

T E L:045-339-3241 / 3242

E-mail:keiri.keiyaku1@ynu.ac.jp